

GREEN×EXPO 2027 開催 500 日前シンポジウム開催について【情報提供】

1 事業の趣旨

GREEN×EXPO 2027 開催 500 日前イベントの一環として、シンポジウムを開催します。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で周知をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で周知をお願いします。

3 シンポジウム概要

(1) 日時：11月19日（水）18時から（17時半 開場予定）※参加費無料

(2) 会場：関東学院大学 横浜・関内キャンパス テンネー記念ホール

（最寄駅：JR 京浜東北線・横浜市営地下鉄関内駅 徒歩約2分）

(3) 内容

ア テーマ：ユース世代と考える 地球と共に生きる身近なアクション

イ 登壇者

(ア) 開会挨拶

(イ) GREEN×EXPO 2027 の説明：GREEN×EXPO 協会担当者

(ウ) 基調講演：佐座 槇苗 氏（一般社団法人 SWiTC 代表理事）

(エ) 特別コンテンツ：ジョイマン（吉本興業）

(オ) パネルディスカッション：佐座氏、市内大学生等

4 申込方法

10月22日（水）から専用 WEB ページによりお申し込みいただけます。先着 500 名。

※専用ページについては別途本市 HP でご案内いたします。

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
担当 中島、橋本
電話 045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

GREEN×EXPO 2027

開催500日前シンポジウム



GREEN
×
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

GREEN×EXPO 2027
公式マスコットキャラクター
トウنگトウング

©Expo 2027

ユース世代と考える 地球と共に生きる 身近なアクション



基調講演・パネリスト

佐座 慎苗

一般社団法人SWITCH 代表理事
サステナビリティ・アドバイザー



特別コンテンツ

ジョイマン

吉本興業所属のお笑いコンビ。
高木 晋哉(左)、池谷 和志(右)

先着**500名**
参加費無料
事前申込

日時 2025年(令和7年)11月19日(水) 18:00-19:45(17:30開場)

会場 関東学院大学 テンネー記念ホール

横浜市中区万代町1-1-1(JR京浜東北/根岸線/横浜市営地下鉄ブルーライン「関内」駅から徒歩2分)

プログラム 司会: 篠原 光 氏(元日テレアナウンサー)

開会挨拶、GREEN×EXPO 2027の紹介、基調講演、特別コンテンツ、パネルディスカッション

パネリストとして市内大学生も参加!

応募方法

① WEBで申し込み



二次元コードを読み取り、
専用サイトから
お申し込みください。

② メールで申し込み

ge500-sympo-entry@ge500symposium.city.yokohama.lg.jp

件名に「11月19日シンポジウム申込」とご記入のうえ、
氏名、フリガナ、電話番号、メールアドレス、年齢、居住地、
手話通訳の有無を明記してご送信ください。

③ FAXで申し込み

045-565-5075

任意の用紙に、氏名、フリガナ、電話番号、年齢、
居住地、手話通訳の有無、
「11月19日シンポジウム申込」とご記入のうえ、送信ください。

主催: 横浜市

共催: GREEN×EXPO協会(公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会)

お問い合わせ: GREEN×EXPO 2027シンポジウム事務局

☎ 045-565-5079 10:00-17:00(土日祝を除く)

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名称: 2027年国際園芸博覧会
テーマ: 幸せを創る明日の風景
開催場所: 旧上瀬谷通信施設(横浜市瀬谷区・旭区)
開催期間: 2027年3月19日(金)~2027年9月26日(日)
博覧会種別: A1(最上位)クラス(AIPH承認+BIE認定)

自治会町内会長 各位

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 上瀬谷整備推進課長

「旧上瀬谷通信施設地区まちづくりニュース第8号」の発行について(依頼)

日頃から市政の推進にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和7年度の工事の進捗状況や、将来のまちづくりの検討状況等について、広く区民の皆様にご案内するために、「旧上瀬谷通信施設地区まちづくりニュース第8号」を発行いたしました。

つきましては、貴自治会町内会において、各役員・各種団体等の皆様にご一読いただきますよう5部送付させていただきます。なお、回覧にご協力いただける自治会町内会の皆様については、所定の部数をお送りいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1 送付資料

「旧上瀬谷通信施設地区まちづくりニュース 第8号」 A3

2 参考

市ウェブサイトでの確認方法

「横浜市 旧上瀬谷通信施設地区 まちづくりニュース」で検索

※ 第1号から第7号もご覧いただけます。



<担当>

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 上瀬谷整備推進課

蒲田、吉田、永田、鮎川

TEL:045-900-0594、FAX:045-550-4098

E-mail:da-kamisui@city.yokohama.lg.jp



A photograph showing three children in a classroom setting. In the foreground, a girl with dark hair is focused on decorating a large rectangular cake with colorful icing. Behind her, another girl is partially visible, also working on a cake. To the right, a boy stands at the table, looking down at his work. The table is covered with various baking supplies, including bowls of colored icing and a palette. The background shows a typical classroom environment with a green chalkboard and some posters.



A woman with long dark hair, wearing a light blue long-sleeved top and a white skirt, is seen from behind. She is holding a large, light-colored umbrella with a pattern of small brown flowers. She is standing on a paved area in front of a building with a glass door and a red sign. A green traffic cone is visible on the left.



⑤ 目黒交番前
交差点

⑥ 八王子街道

環状4号線(海軍道路)

上川井

① 相沢川調節池(地下式)

③ 公園区域

相沢川調節池(オープン式)

② 上川井瀬谷1号線

GREEN×EXPO
2027会場区域

④ 瀬谷地内線

工事中の道路・上下水道等
工事中の調整池

環状4号線バイパス道路
上川井瀬谷1号線工事用回路

工事用回路(年内延伸予定)

上川井瀬谷1号線

工事用う回路

相沢川調整
(オープン式)

環状4号線

A photograph of a park area with green grass, trees, and a clear blue sky. The image shows a wide, open space with scattered trees and a path in the background. The sky is bright blue and clear. The overall scene is peaceful and natural.

拡幅車線

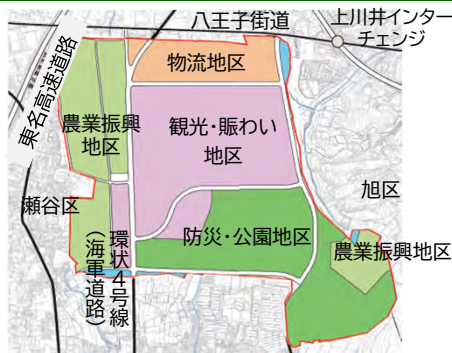
【⑥目黒交番前交差点の拡幅整備状況】

都市計画の検討状況

旧上瀬谷通信施設地区のまちづくりの方針や、土地利用の考え方をとりまとめた土地利用基本計画(令和2年3月策定)や、デザインノート(令和5年2月策定)を踏まえ、4地区の「土地利用の方針」を地区計画に定めます。

また、物流地区については、施設計画の調整が整ったため、緑地の設置や建物の用途の制限などの、土地利用に関するルールをあわせて定めます。

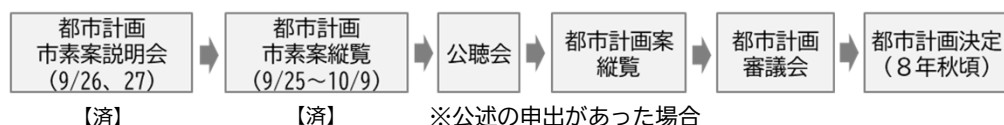
令和8年秋頃の都市計画決定を目指します。



○ 地区計画に定める土地利用の方針 (案)

物流地区	▶ 新技術を活用した次世代モビリティへの対応等を目指した基幹物流施設を立地する。 ▶ 災害対応力強化や脱炭素等にも資する土地利用を誘導する。
観光・賑わい地区	▶ 周辺と調和したまちづくりの中心となる、テーマパークを核とした複合的な集客施設を立地する。
農業振興地区	▶ かんがい施設等の農業生産基盤を整備する。 ▶ 企業等との連携を図り、持続可能な都市農業モデルの確立に資する土地利用を誘導する。
防災・公園地区	▶ 大規模災害時における自衛隊等応援部隊の拠点機能や、物資の流通拠点機能などを担う広域防災拠点を形成する。 ▶ 既存樹木や地形等を生かした水と緑の環境を形成する。

○ 都市計画手続の流れ(予定)



新たなインターチェンジ

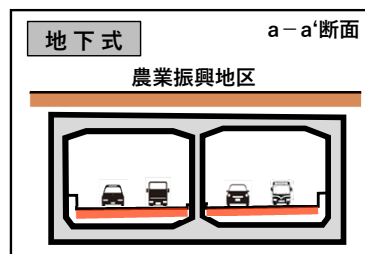
防災・公園地区に整備する広域防災拠点の機能を最大限に発揮するとともに、市民の暮らしや経済の活性化に繋がる安定的な物流の確保を目指し、東名高速道路と旧上瀬谷通信施設地区を直結する新たなインターチェンジの整備に向けた検討を進めています。

このたび、右にお示しするとおり、道路の線形や、構造等の施設計画案がまとまりました。今後は、環境影響評価の手続きを進めるとともに、年度内に都市計画手続きに着手していきます。

Q:どんなインターチェンジになるの？

A: 旧上瀬谷通信施設地区内に入出口を設け、東名高速道路の東京方面・名古屋方面に乗り降りできるインターチェンジとして計画しています。

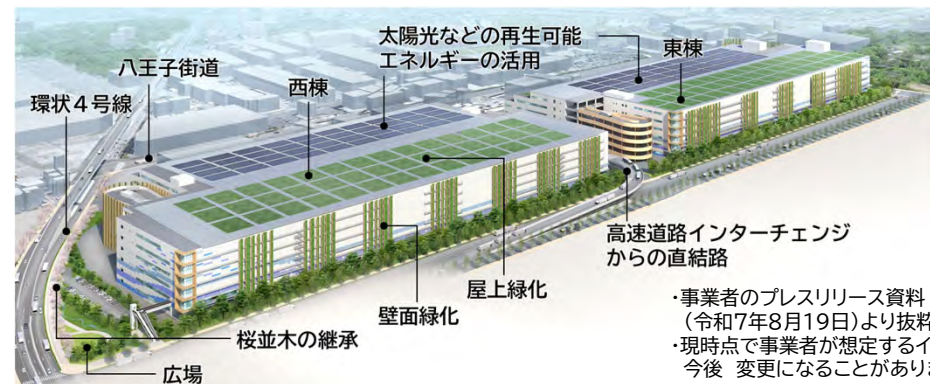
農業振興地区は、地域からの要望や環境影響評価審査会での意見等を踏まえ、営農環境への影響が極力少なくなるよう、地下式としました。



物流地区 ～次世代基幹物流施設～

Q:「次世代基幹物流施設」とは？

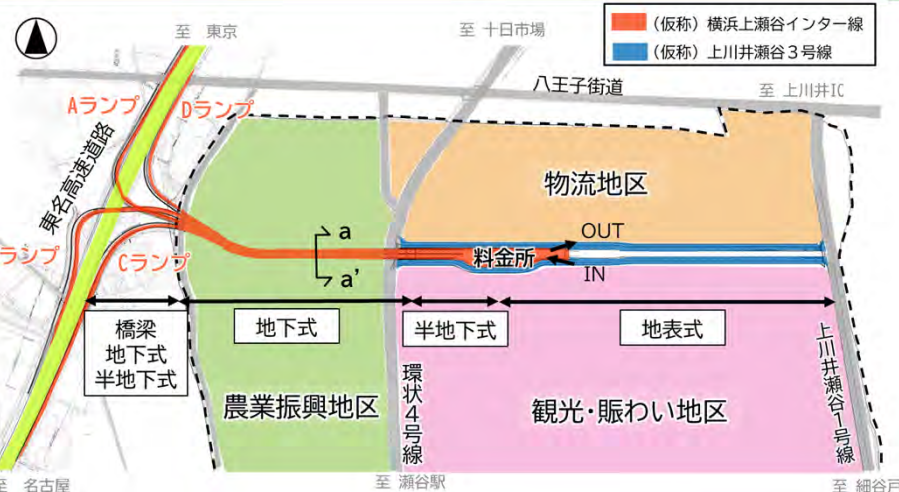
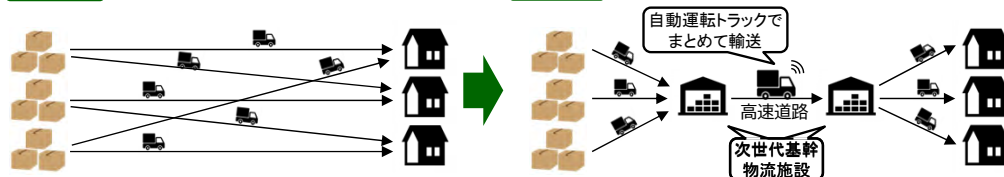
- A: ・ 高速道路インターチェンジからの直結路により自動運転トラックの受入れを可能とする物流施設で、同様の施設が京都府城陽市などでも計画されています。
- ・ 物流の大動脈である東名高速道路から新名神高速道路までの東西に「次世代基幹物流施設」が整備されることで、社会課題となっているトラックドライバー不足の解決や物流効率化、周辺の地域産業の活性化などが期待されます。
- ・ 整備する施設は、2050年脱炭素社会の実現を目指し、太陽光などの再生可能エネルギー等の活用を予定しています。また、壁面緑化や屋上緑化などによる多様な緑化空間の形成や、環状4号線沿いの連続的な桜並木の継承とともに、来街者や住民が憩える広場の整備なども行われる予定です。



・事業者のプレスリリース資料(令和7年8月19日)より抜粋し注釈を補記
・現時点で事業者が想定するイメージであり、今後 変更になることがあります

従 来 別々に輸送、輸送のムダが発生

将 来 物流の自動化・省人化や環境負荷低減に寄与



登録無料



に登録して

自治会町内会の活動紹介やボランティア募集をしてみませんか？

季節の行事など

学生ボランティアなど

NEW 10月16日から
瀬谷区で登録できる
ようになりました！



とは？

自治会町内会、NPO、ボランティア団体など（※）、
地域で活動する団体のイベント情報やボランティア募集情報を
集めたポータルサイトです。

※対象区：青葉、都筑、瀬谷

対象団体：自治会町内会、区民活動支援センター登録団体、地区社会福祉協議会、
公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーター等の市民公益活動
を行う団体（※委嘱委員の登録も可能です。）

※令和7年10月現在。対象区や団体は今後拡大予定です。



掲載のメリット

メリット①

自治会町内会活動を広く知って
もらうことができます。



メリット②

活動を知ってもらい、参加者が増える
ことで、新たな仲間を増やすキッカケ
になります。



メリット③

活動の実施可否などをリアルタイム
に発信でき、ホームページの代わり
になります。
荒天時に活動中止の情報も、簡単に
発信可能です。



に情報を掲載するには？

ステップ①

団体登録申請 をします。

よこむすび 団体登録申請

検索



区役所確認後、
登録完了メールが届きます。



ステップ②

イベント情報 や
ボランティア募集情報 を
登録・掲載します（随時更新可能）。

問合せ

横浜市市民局市民協働推進課

電話番号：045-671-4734

メールアドレス：sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

瀬谷区地域振興課地域力推進担当

電話番号：045-367-5789

メールアドレス：se-chiikiryou@city.yokohama.lg.jp



自治会町内会の広報、スマホでもっと簡単・便利に



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト

操作・登録説明会

「使ってみたいけど、操作がちょっと不安…」
「どんな機能があるの？」という方、ぜひご参加ください！
説明会では、サイトの主な機能のご紹介から、申請・登録の流れまで、
実際に画面を見ながら一緒に操作していきます。
スマホが苦手な方も大歓迎！お気軽にご参加ください



説明会 概要

日時	11月20日(木) 14:00～15:30	会場	瀬谷区民活動センター (せやまる・ふれあい館2階)
対象	自治会町内会、地区社会福祉協議会、公園愛護会、水辺愛護会、 ハマロード・サポーター、市民活動支援センター登録団体		
費用	参加費・登録費ともに無料		
持ち物	パソコン・スマートフォンなどインターネットに接続可能な端末、筆記用具 ※パソコン、スマートフォンは十分に充電ができているか、ご確認ください。		
申込方法	横浜市電子申請システム（⇒二次元コード）より申込み 申込期限：11月17日（月） ※申込多数の場合は、別日をご案内する場合があります。 ※ご不明点は、下記問合せ先までご連絡ください。		



よこむすび

こんな方におススメ！



地域のイベントを
もっといろんな人に
知ってもらえないかな？

一緒に活動する
仲間を増やしたい！



情報をスマホで簡単に
発信・更新できたら…



お問合せ 瀬谷区地域振興課地域力推進担当 TEL：045-367-5789

E-mail：se-chiikiryouku@city.yokohama.lg.jp

市民局市民協働推進課 TEL：045-671-4734 E-mail：sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

つながれば、
まちもじぶんも、
もっと好きになる。



ヨコハマでつながる、
広がる、楽しむ



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト



ヨコハマで地域活動に参加して、
新しい仲間と楽しい時間を過ごしませんか？



「よこむすび」は、自治会町内会、NPO 法人、ボランティア団体など、
地域で活動する団体のイベント情報やボランティア募集情報を集めたポータルサイトです。

市民のみなさんの情報収集の場として、ぜひご活用ください。（※）

（※）発信できる団体には一部制限があります。



横浜地域活動・ボランティア情報サイト よこむすび

検索



横浜市役所
市民局市民協働推進課

TEL : 045-671-4734 FAX : 045-223-2032

Copyright © City of Yokohama. All rights reserved.



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト



「よこむすび」の由来

ヨコハマのコミュニティをむすぶ、よこの人（隣の人、地域の人）をむすぶウェブサイトになるように、という思いが込められています。

イベントをさがす

横浜市内の活動団体が開催するイベント情報を検索できます。新しい学びや体験、仲間さがしに活用してください。



ボランティア募集をさがす

横浜市内を中心とした、ボランティア募集情報を検索できます。エリアや活動分野から、ご自身に合った活動を見つけてください。



団体をさがす

横浜市に拠点を置く活動団体を検索できます。興味のある団体が見つかったら、その団体が開催しているイベントやボランティア活動に参加してみましょう。



活動団体紹介

横浜市の市民活動やボランティア活動をより身近に感じていただけるよう、さまざまな団体をインタビュー形式の記事で紹介しています。



お知らせメールの登録方法

新着イベント情報・ボランティア募集情報をメールで受け取れます。



STEP 1



メールアドレス登録

STEP 2



本登録

STEP 3



登録完了

横浜みどりアップ計画[2024-2028]1年目の 実績報告について【情報提供】

1 事業の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

2024 年 4 月からは 4 期目となる新たな 5 か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、1 年目の 2024 年度を振り返り、取組の成果をまとめたリーフレットを作成しましたのでご報告いたします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 配布資料

- (1) 横浜みどりアップ計画[2024-2028]2024 年度の実績概要リーフレット
- (2) 1 年目（2024 年度）の区別実績
- (3) 「横浜みどり税」の説明チラシ

【問合せ】

横浜みどりアップ計画の広報に関すること

みどり環境局戦略企画課 TEL：671-2712 FAX：550-4093

横浜みどり税に関すること

財政局税務課 TEL：671-2253 FAX：641-2775

横浜 みどりアップ計画

[2024-2028]

2024(令和6)年度の実績概要



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2009年から「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら「横浜みどりアップ計画」を進めています。このリーフレットは、2024(令和 6)年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。





市民とともに次世代につなぐ森を育む



森が守られています

●目標(36ha)を上回る面積の森を新たに保全しました。また、必要に応じて市で買取りを行い、残された大切な緑地を永続的に守っています。

緑地保全制度による樹林地の指定面積の推移

樹林地保全の進展

これまでのみどりアップ計画
(2009～2023年度)
15年間1082.5 ha

みどりアップ計画開始前
(1969～2008年度)
40年間861.9 ha



計画開始前の
3倍以上
のスピード
で保全を推進

2024年度
49.5ha

横浜みどりアップ計画期間中(2009～2024)に
合計1132.1 haを指定

※端数処理により、面積の合計が一致しません。



円海山近郊緑地特別保全地区
(磯子区)



羽沢町具行特別緑地保全地区
(神奈川区)

	緑地保全制度 による新規指定	市による 買取り	保全した 樹林地の整備
2024年度実績	49.5ha	7.2ha	推進
5か年の目標	180ha(36ha)	100ha[想定] (20ha[想定])	推進

森の手入れがされ、育まれています

●市民の森愛護会などと連携して、地域の特性を活かしつつ森を保全・管理する計画に沿って、森づくりを行いました。また、維持管理にお困りの所有者に対して助成を行いました。

	森の維持管理	維持管理の助成
2024年度実績	推進	134件
5か年の目標	推進	750件(150件)



市民と連携して森づくりを進めました

上菅田町金草沢東特別緑地保全地区
(保土ケ谷区)

維持管理の助成を行った樹林地(南区)
作業前 → 作業後

森を知る・関わる・つながる機会が広がっています

●森づくりを担う人材の育成として、森づくり体験会や研修を行いました。市民が森に関わるきっかけづくりとして、市内大学などと連携したイベント開催等を行いました。



森づくり体験会(戸塚区)

森のネイチャーゲーム(瀬谷区)

	森づくりを担う 人材の育成	森づくり活動団体 への支援	市内大学や関係団体等との連携や 区主催による地域の森でのイベントの実施	学校と連携した きっかけづくり
2024年度実績	10回	36団体	115回	推進
5か年の目標	50回(10回)	175団体(35団体)	180回(36回)	推進

暮らしを豊かにするみどりと共に

緑は、わたしたちの暮らしに潤いを与えるだけでなく、多様な機能を持っています。緑を守り・つくり・育む、横浜みどりアップ計画の取組は、その機能を活用しながら地球温暖化など社会の様々な課題の解決にもつながっています。

市民の森とは・・・

横浜市では1971年に全国に先駆けて、緑地を保存しながら、その緑地を市民の散策や憩いの場として公開する「市民の森」制度を創設しました。

横浜みどりアップ計画開始から16か所増え、現在43か所が開園しています。市民の森では、愛護会や森づくり活動団体など多くのボランティアが、草刈り、間伐、生きもの調査や環境教育といった「良好な森をつくる活動」を行っています。



上川井市民の森(旭区)

緑の多様な機能

- ▶防災・減災 ▶暑さを和らげる ▶多様な生き物のすみか
- ▶地産地消 ▶美しい景観 ▶環境教育・農体験
- ▶街の賑わい・魅力 ▶地域のコミュニティ など

そして ★健康づくり・レクリエーション

市民アンケート調査では、
今後「最もおこなってみたい取組」として
**森の散策・ウォーキングが
1位に**

横浜の身近な緑を楽しもう！

「市民の森」へ行ってみよう！

市民の森 横浜

検索



市民が身近に農を感じる場をつくる



柱2

水田・農地が保全されています

●水田や農地を維持するために支援を行い、多様な機能をもつ良好な農景観を保全しました。

	水田保全面積	遊休農地の復元支援
2024年度実績	112.5ha	0.89ha
5か年の目標	115ha	3.0ha(0.6ha)



農とふれあう機会が増えています

●市民が気軽に楽しめる収穫体験農園の開設支援や、横浜ふるさと村、恵みの里での農体験教室など、農とふれあう場づくりを行いました。マルシェや直売所への開設支援や「はまふうどコンシェルジュ」によるイベント開催等の地産地消の取組を通じて、農とふれあう機会を増やしました。



	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	横浜ふるさと村、恵みの里での農体験教室などの実施	直売所・青空市等の支援	市民や企業等との地産地消の連携
2024年度実績	3.38ha	119回	62件	15件
5か年の目標	19.5ha(3.9ha)	450回(90回)	285件(57件)	75件(15件)



市民が実感できる緑や花をつくる



柱3

まちなかでの緑が創出されています

●緑の少ない市街地でも身近に緑や花を実感できるよう、緑豊かな公園を整備しました。地域で愛されている桜並木の再生など街路樹による良好な景観づくりを進めました。

	シンボリックな緑の創出	街路樹による良好な景観づくり
2024年度実績	緑の創出 3か所	18区で推進
5か年の目標	緑の創出 5か所	18区で推進

2024年7月に開園しました



緑や花があふれる地域づくりの支援が行われています

●植栽や花壇の整備への助成、アドバイザー派遣などにより、地域で取り組む緑のまちづくりを支援しました。オープンガーデンをはじめ、緑や花を通じた地域のコミュニケーションの活性化を図りました。また校庭や園庭の芝生化や植樹、生きもののすみかとなるビオトープなど、子どもを育む空間での緑の創出を行いました。



	地域緑のまちづくり	緑や花を身近に感じる各区の取組	人生記念樹の配布	子どもを育む空間での緑の創出
2024年度実績	7地区	18区で推進	6,915本	28か所
5か年の目標	35地区(7地区)	18区で推進	40,000本(8,000本)	100か所(20か所)

緑や花で賑わいの空間がつくられています

●山下公園や日本大通りなど都心臨海部等で緑や花による魅力ある空間づくりを進めました。

	都心臨海部等の緑化による魅力ある空間づくり
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進



広報の活動

横浜みどりアップ計画の取組と成果を多くの皆さまに知っていただくために、イベントへの出展や広報紙への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いた広報を展開しました。

みどりアップのイベントや体験スポット、「よこはまこどもみどりアップ」についてはこちらをご覧ください。



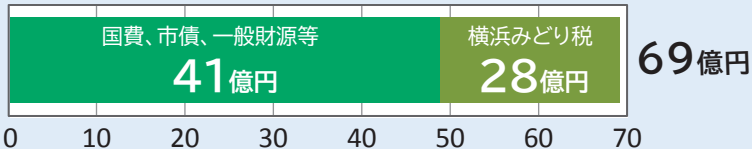
デジタルサイネージでのPR画像放映(関内駅北口)



よこはまこどもみどりアップ

事業費と横浜みどり税

● 1 か年(2024年度)の事業費(うち横浜みどり税)



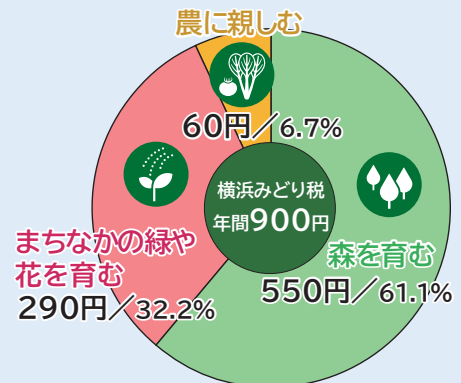
横浜みどり税の課税方法

【個人】市民税の均等割に年間900円を上乗せ

※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く

【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ

● 一人当たりの横浜みどり税の使いみち



● 横浜みどり税の使いみち

使いみち① 樹林地・農地の確実な担保

- ・ 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
- ・ 水田の保全 など

使いみち② 身近な緑化の推進

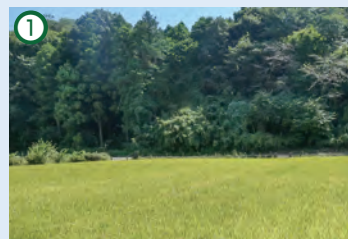
- ・ 地域緑のまちづくり
- ・ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり など

使いみち③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上

- ・ 森の多様な機能に着目した森づくりの推進
- ・ 街路樹による良好な景観づくり など

使いみち④ ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

- ・ 森づくりを担う人材の育成
- ・ 収穫体験農園の開設支援 など



寺家町での水田の保全(青葉区)



野庭団地での花壇の手入れ(港南区)



古橋市民の森における良好な森の育成(泉区)



自然観察講習会(保土ヶ谷区)

横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている組織です。取組の検証や現地視察を踏まえ、評価・提案を報告書にまとめているほか、市民目線での情報発信を行っています。



取組の現地レポートはこちら

実績報告書は、市ウェブページをご覧ください。区ごとの実績もご覧いただけます。



横浜みどりアップ計画

検索



横浜みどりアップ 葉っぱー

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」の広報について

みどり環境局戦略企画課 TEL 045-671-2712 FAX 045-550-4093

「横浜みどり税」について

【個人市民税】各区区役所税務課または財政局税務課 TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775

【法人市民税】財政局法人課税課 TEL 045-671-4481 FAX 045-210-0481



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

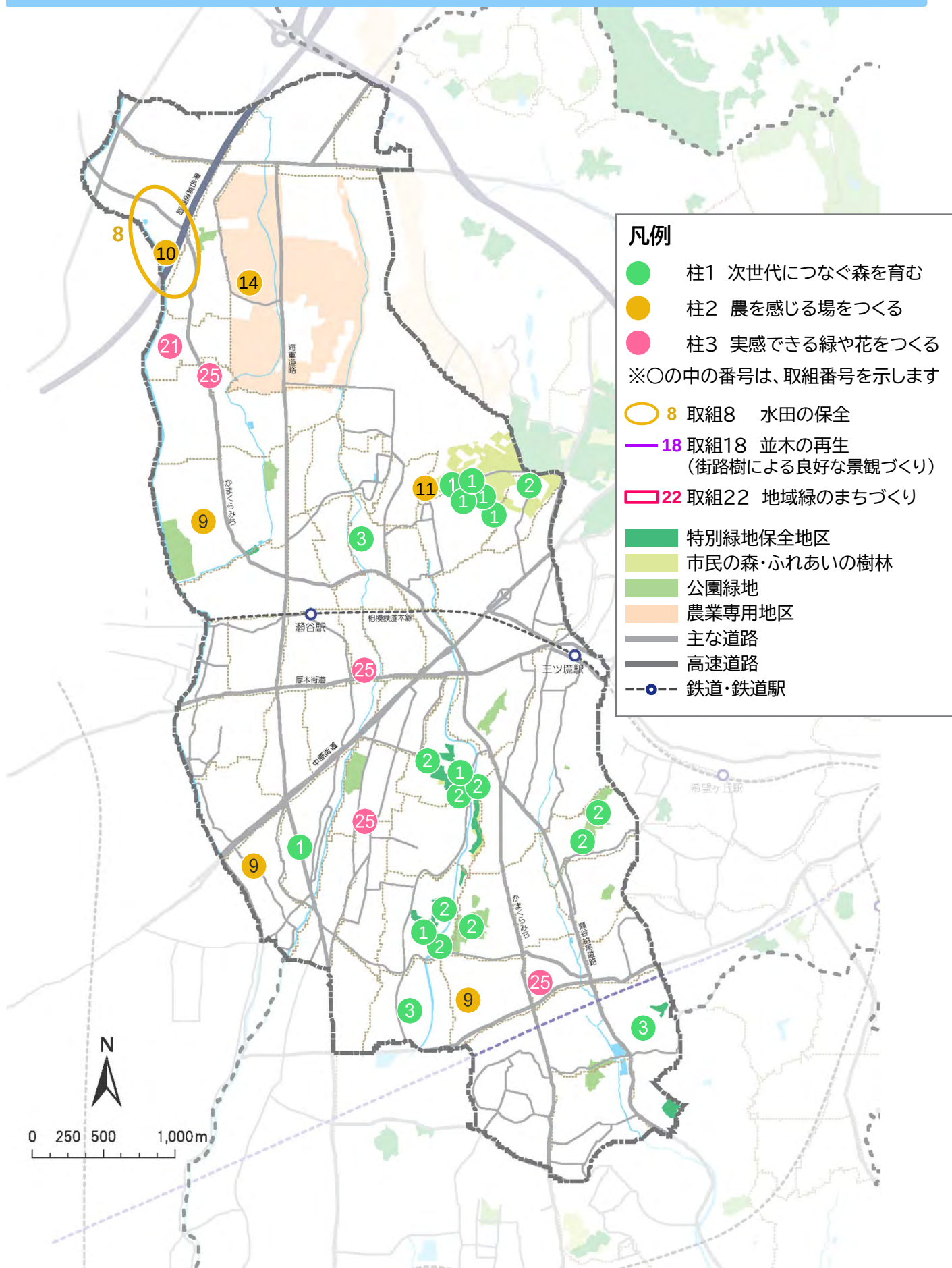
公式マスコットキャラクター トゥンクトゥンク

©Expo 2027

第4章 各区の実績

- ・各区における実績マップに示されている取組の場所は、実際の位置を正確に示すものではなく、おおよその目安としてご覧ください。
- ・市域全体から広く参加者を募ったイベントや講座など、全市的に効果が及ぶものは各区の実績には含めていません。

瀬谷区における実績



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組
1

緑地保全制度による指定の拡大・
市による買取り
保全した樹林地の整備 擬木柵の設置
瀬谷市民の森



取組
6

森に関わるきっかけづくり

瀬谷図書館との連携による森の
ネイチャーゲームの開催 本郷三丁目公園



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組
8

水田の保全
目黒町



取組
10

農景観を良好に維持する活動の支援
集団農地維持活動団体への支援
八幡耕地整理組合



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
瀬谷の魅力オープンガーデン



取組
23

地域に根差した緑や花の楽しみづくり
三ツ境駅ペデストリアンデッキでの
花壇づくり



4 各区の取組

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

・緑地保全制度による新規指定

市民の森等 0.10ha

瀬谷市民の森(2か所)

寄付緑地等 289㎡

瀬谷市民の森隣接地

・市による買取り

市民の森等 0.20ha

瀬谷市民の森

公園樹林地等 463㎡

宮沢・蟹沢特別緑地保全地区管理用地

・保全した樹林地の整備

3か所 下瀬谷二丁目特別緑地保全地区／瀬谷市民の森／東山ふれあい樹林

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地 6か所

宮沢特別緑地保全地区／宮沢・蟹沢特別緑地保全地区／宮沢三丁目特別緑地保全地区／瀬谷市民の森／東山ふれあい樹林／宮沢ふれあい樹林

公園 3か所

瀬谷貉窪公園／長屋門公園(2か所)

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

3か所 相沢三丁目／阿久和南一丁目／宮沢四丁目

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

14回 各種イベント(7回)／クラフト教室等(7回)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

1.58ha 目黒町

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

3件 阿久和西四丁目／下瀬谷三丁目／本郷一丁目

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体 1件

八幡耕地整理組合

農地縁辺部への植栽 1件

八幡耕地整理組合

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策 0.20ha

下瀬谷一丁目／南瀬谷一丁目(2か所)／南瀬谷二丁目

●取組11 多様な主体による農地の利用促進

・遊休農地の復元支援

0.05ha 瀬谷町

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

青空市・マルシェ等 1件

上瀬谷直売グループ

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 366本

環状4号線(瀬谷中学校～下瀬谷)／県道丸子中山茅ヶ崎線(中原街道)ほか

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 1件

竹村町(1件)

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

瀬谷の魅力オープンガーデン事業／三ツ境駅ペデストリアンデッキ整備事業

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(相沢四丁目公園など38か所)／花苗の配布(相沢四丁目公園など34か所)／堆肥の配布(阿久和大原公園など14か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

293本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の育成 4か所

瀬谷第二保育園／中屋敷保育園／原小学校／南瀬谷小学校

よこはまの緑を 未来を担う 子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどりアップ計画」を進めています。



横浜みどり税について

横浜みどり税の 税額

個人市民税均等割に年間 **900 円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。



横浜みどり税の 使途

「横浜みどりアップ計画」の
うち、下記の横浜みどり税の
使途に該当する事業へ横浜み
どり税を充当します。

- ・樹林地・農地の確実な担保
- ・身近な緑化の推進
- ・維持管理の充実による
みどりの質の向上
- ・ボランティアなど市民参画
の促進につながる事業

横浜みどり税（年間 900 円）の使いみち

農に親しむ

- ・農景観をまもる
- ・農にふれあう（農体験）

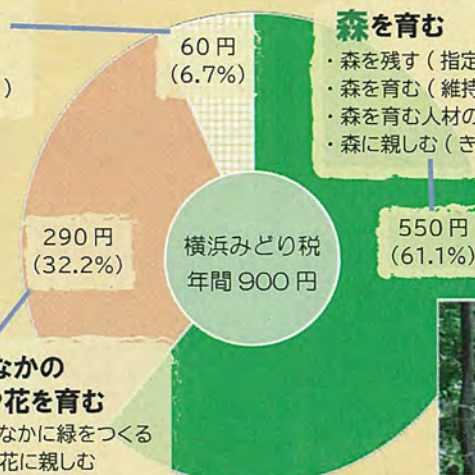


まちなかの 緑や花を育む

- ・まちなかに緑をつくる
- ・緑や花に親しむ

森を育む

- ・森を残す（指定・買取り）
- ・森を育む（維持管理など）
- ・森を育む人材の育成（活動に対する支援）
- ・森に親しむ（きっかけづくり）



横浜みどりアップ計画 [2024-2028]

横浜みどりアップ計画



計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します



みどり税を活用した取組

市民とともに
次世代につなぐ**森**を育む

5か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に
農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる
緑や花をつくる

5か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様に取り組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開



森林環境税（国税）と横浜みどり税

Q

国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



A

目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間1,000円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和6年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で譲与（令和5年度までは、地方公共団体金融機関の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

- 「横浜みどり税」について
▶ 区役所税務課 または 財政局税務課 電話：045-671-2253 FAX：045-641-2775
- 「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」について
▶ みどり環境局戦略企画課 電話：045-671-4214 FAX：045-550-4093